



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2007.12.12 (No.2484)
週報 No. 23

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦
会長／荻根澤隆雄
会長エレクト／中村和彦(クラブ奉仕A)
副会長／菊池渉(クラブ奉仕B)
幹事／杉山幸英
S A A／浅野金治
会計／山田富義

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:63名中45名
■先々週出席率:78.33%

【ゲスト】

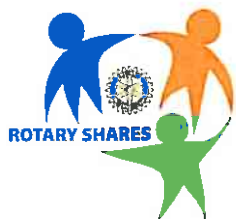
・ローズマリー
店主 浅間信子 様

【ヴィジター】

・三条ローターアクトクラブより
佐藤俊光さん、中野直人さん
・三条南より馬場茂夫さん

【先週のメイクアップ】

[12.6] 三条東RCへ
・石倉政雄さん



「ロータリーは分かちあいの心」
2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



葉牡丹

会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



ご挨拶を申し上げます。

今頃の時期になりますと巷では忘年会が
あちこちで開かれております。

土曜日の日経プラス1で忘年会とは「そ
の年の苦労を忘れる為に年末に催す宴会」
と前置きをし、起源は鎌倉時代にまで遡る
が今のような酒を飲み交わすのではなく、
優雅に和歌などを詠んだと紹介されてお
ります。

今のようなスタイルになったのは夏目漱石が「我輩は猫で
ある」の中に忘年会と云う文字が出た事で明治の頃からと云
われておりますが、起源となると約150年も続いた鎌倉時代
のどの辺りかも記されている訳でもないのが怪しいものだ
と私は疑っておりますし、この類の話であれば創作しても罪は
無しと考えます。

ともあれ、忙しい年だったの意味での忙年会もあれば、今
年の事は兎に角忘れたいとの思いの忘年会と、人それぞれか
とも思いますが出来れば愚痴は慎みたいものです。

話は変わりますが日本商工会議所から月間誌の「石垣」が
定期的に送られてきます。

その石垣12月号の社訓のススメと云う欄に上野トランス
テック(株)の社訓が掲載されており、こちらの会社の社是とし
て『別是一壺天』が紹介されております。

あわせて上野トランステック(株)の会長兼CEOの上野孝様
の写真も載っておりましたので直ぐに分かったのですが、
2006～2007年度のウィリアム・ビル・ボイドRI会長代理を

務められました横浜RCの上野孝様であります。

地区大会での上野ご夫妻の印象と言いますと気品ある気高さを併せ持った高貴なご夫婦のイメージが強かった事を憶えております。

そんな事で掲載ページをコピーし配布をさせて頂きましたのでお持ち帰り願います。

それと、先週の例会後ですが杉山幹事と一緒に藤田先生を訪ねまして、今地区大会での長寿ロータリオン表彰状をお持ちした次第です。

先生はいたってお元気で皆様によろしくとのこと、ご報告を申し上げまして挨拶を終わります。

ありがとうございました。

幹事報告

杉山幸英 幹事

◎次週12月19日(水) いからしの里サンタクロースです。

ご出席くださる方はよろしくお願い致します。

◎次週12月19日(水) はクリスマスパーティーです。

ご出席の方はよろしくお願い致します。

ニコニコBOX

三条南RC 馬場茂夫さん

メイクアップさせていただきました。

よろしくお願い致します。

荻根澤隆雄さん

会員の松永さんがノロウィルスだそうです。皆様も気を付けてください。

今日は浅間様、卓話よろしくお願い致します。

野水文治さん

地区大会での受彰に感謝して。

渋谷健一さん

先般地区大会に於いてガバナー賞を頂き、合わせてクラブより写真やお祝品を頂き誠にありがとうございました。

広岡豊作さん

地区大会でガバナー賞を頂きました。副賞のリングお心遣い感謝。

浅間さんの卓話よろしくお願い致します。

熊倉昌平さん

連続出席のガバナー賞を頂きました。

浅間信子さん、卓話ありがとうございます。

野崎喜一郎さん

宝くじを買ったつもりで。良い事がありますように。

杉山幸英さん

金庫さんでの本年度最後の例会になりました。

浅間さん卓話ありがとうございます。楽しいお話を期待しております。

小出子恵出さん

「スマイルBOXに協力すると良いことがある」そうなので。

西川文夫さん

会に入会させて頂き、皆様のあたたかいお心遣いに感謝致します。ありがとうございます。

小越憲泰さん

昨夜、三人目の孫が生まれました。三人共男の子です。

外山雅也さん

昨夜は二次会で久しぶりに酔い潰れました。

渡辺勝利さん、樺山 仁さん、中村和彦さん、浅野金治さん、丸山行彦さん、佐藤 武さん、日戸平太さん、若槻八十彦さん、船越正夫さん、高橋 司さん、明田川賢一さん、平原信行さん、石橋育於さん、金子俊郎さん、石月良典さん

浅間信子様、卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

渡邊喜彦さん

今日は早目に帰らせていただきます。

加藤紋次郎さん

早退させて頂きます。

石倉政雄さん

早退します。申分け有りません。

五十嵐浩さん

都合により早退します。

12月12日分 ￥ 48,000

今年度累計 ￥716,000

1月のお祝い

◎会員誕生祝

- 1日 野崎喜一郎さん
- 2日 橋 直樹さん
- 11日 五十嵐昭一さん
- 11日 五十嵐晋三さん
- 20日 小越憲泰さん
- 23日 丸山行彦さん
- 24日 川瀬康裕さん
- 27日 樺山 仁さん
- 27日 野水文治さん



◎夫人誕生祝

- 16日 山田幸恵さん (富義)
- 17日 浅野ちか子さん (金治)
- 19日 五十嵐芳江さん (力)
- 27日 渡辺美代さん (勝利)

◎結婚記念祝

- 7日 捧 賢一さん (ミヨエさん)
- 14日 長谷川有美さん (美智子さん)

◎100%出席賞

- 24年 五十嵐晋三さん
- 23年 五十嵐昭一さん
- 18年 斎藤弘文さん
- 15年 石橋育於さん
- 15年 日戸平太さん
- 1年 石月良典さん

卓 話

ローズマリー 浅間信子 様



皆様、今日は。今日はご指命をいただきまして、私、本町2新小路でカラオケスナックをやっております、ローズマリー店主浅間信子です。

1943年昭和18年3月生まれの64才、女優さんで言うなら十朱幸代、フランスのカトリーヌ・ドヌーヴ

と生まれ年が一緒です。

還暦を過ぎますと、外見的にはとても個人差が出てきます。

特に素顔でいられる殿方と違って、女性は化粧という武器がありますのでとても個人差が出てくる訳です。

とは申しましてもこの年齢迄生きてますと、1に健康、2に健康、3・4が抜けてもまた健康。ほぼこれに尽きると私は思います。

健康でいる為に如何に生きるかを考えますと、如何にストレスを避けるかに尽きると思います。言うは易し、行いは難しで、実際の生活の中ではなかなか避けられるものではありません。

私がお話したい歌でも、全ての人が好きとは限りません。

でも、そうは申しましても、三度の飯より歌が好きという私から歌を取ったら語ることなしになってしまいます。

そこで今日は、音楽が如何に健康に良いかをお話させていただきます。

くちびるには歌を、心には太陽を。

この陳腐な言葉こそ、私の生きるモットー。そして、ローズマリーの存在理由でもあります。

歌う事は吐き出しでもあります。

年と共に、若い頃に比べて長く話を聞く事が苦痛になるのが一般的ではないでしょうか。お店においでになるお客様も、お話をされるか歌を歌われることが一番の目的であって私の話を聞いたり、私の歌を聴いたりという方は皆無とは申しませんが、まずありません。

皆様それなりに大なり小なりストレスをお持ちで、その発散においでになると私は理解しています。

阿波踊りも、どうせ見るなら踊らにゃ損々と、踊りますように今や、カラオケもまた、どうせ聴くなら歌わにゃ損々の世界です。

カラオケの発明で私のような歌好きは本当に幸せです。伴奏付きで歌えるし、キーも自分で合わせられるのですから。

心には太陽を

太陽こそ、愛、思いやり。

そして私の体験から覚えた、セロトニンという言葉。これはテレビで精神科のお医者様のお話から知った言葉です。

お医者様もいらっしゃるのに、素人の私が語るのは僭越ですが説明させていただきますと、セロトニンは脳内物質で、心の平穏を保つ働きをして正常であれば、自身の脳で作られるのですが、ストレスとか様々なショックとかで自身では作れなくなる状態、そういう状態が最近よく言われている、うつ病、うつ状態という事だそうです。

抗うつ剤はそのセロトニンを作る助けをしてくれる薬という事になります。

太陽の光もまた、このセロトニンを作る手助けの作用があるということです。

今、健康オタクの日々を送っています。

それというのも9年前、子宮体ガンで新潟大学病院に入院しました。

8月の初め、貯血入院2週間、そして、手術、無事3週間後退院となりました。

手術前、毎日病院の屋上で独りで歌を歌ったものです。(新潟の海を見ながら)

退院したあとも、結局カラオケを歌って、なんとか、また、仕事をやる気を起こしたものです。

そして7年前、あるショックとでもいいでしょうか。まさに今思うと、一瞬にしてセロトニンができなくなり、しばらくは心を失った状態で仕事を続けたものです。

よく立ち直ったものだと、今は、心の平静を取り戻せたことに感謝しています。

考え方も180°変わったと思っています。

そして人間の弱さを思い知らされました。

本当に苦しかった3年間でしたが、その苦しさのお陰で、それまで分からなかったことが見えたり、また、1日1日を平静な心で暮らせる毎日に感謝しています。

現在は好きな歌で仕事をし、ささやかに中央競馬を楽しみ、そして大好きなテレビドラマ、特にサスペンス物を観賞して平和そのものに暮らしております。

来年はいよいよ65才。これからまた、春が来る日を楽しみに過ごすつもりです。

先のことは、ケセラセラでゆこうと思っています。

花街に生まれ住んで、私が言えることは、花街は語ることはなしです。

結局、人それぞれ、なんとか、心と体の健康に気がかいらながら生きてゆくということでしょうか。人生いろいろですね。私がお話をしますと、必ずどこかで歌の題名が出てきます。

十日町小唄

一 越後名物 かずかずあれど

明石縮に 雪の肌

着たらはなせぬ 味のよさ

(テヨサツテモ ソジャンイカ

テモソジャンイカ
(以下はやし略)

二 娘ざかりを なじよして暮らす

雪にうもれて 機仕事

花のさくまじや 小半年

三 雪の夜語り 囲炉裏に更けて

帰しにもない 人がある

ままよ積るなら 一二丈

四 窓にさらさら 粉雪の音を

聞いて眠れぬ 夜もすがら

やるせないぞや 雪あかり

四季の歌

一 春を愛する人は 心清き人

すみれの花のような

ほくの友だち

二 夏を愛する人は 心強き人

岩をくだく波のような

ほくの父親

三 秋を愛する人は 心深き人

愛を語るハイネのような

ほくの恋人

四 冬を愛する人は 心広き人

根雪をとかず大地のような

ほくの母親

五 ラララ………

次週例会 12月26日 クラブ休会

次々週例会 1月2日 クラブ休会

